

交通事故死ゼロ

大府市が記録更新

大府市の交通死亡事故ゼロが、一昨年末から四百七十五日を超え、記録を更新した。市内で啓発活動を続けてきた交通安全協会東海大府支部大府分会に二十四日、感謝状が贈られた。

(長坂幸枝)

今日10日 最長の475日達成

市内で最後に死亡事故が起きたのは二〇〇七年十二月二十二日。これまでの最長は一九九八年三月二十六日からの四百七十四日で、今回は四月十日全教習チーム「あゆみ」をこの日数を上回った。県招き、老人クラブなど七カ内の同規模の市で、三百日所で犠牲者にならないようを超えているところはなアトバイスしていた。

同分会は、ゼロの付く日

東海署など 安協大府分会に感謝状



と年四回の交通安全運動期間中に、住民と交差点に立ち、車のスピード抑止を訴えるとともに、手を挙げて

の横断を勧める「ハンドアップ作戦」などで歩行者が安全を確保することを呼び掛けてきた。

会員の企業の中には、軽微な物損事故やちょっとした危険箇所でも社員が担当者に報告する習慣が生まれているという。

市役所で開かれた同分会の総会の冒頭、東海署の今村忠二署長と市安心安全推進協会長の久野孝保市長の連名の感謝状が本間幹男分会長に手渡された。本間分会長は「今年は人身、物損事故とも減っており、正の連鎖が継続できるよう官民一体となって協力を」とあいさつした。

感謝状を受け取る本間分会長—大府市役所で